

令和3年度 教育事業  
「自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成研修」

1 趣旨

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、子供の発達段階に応じて安全な活動を指導できる人材を養成する。

2 日程

- (1) 期 日 令和4年2月11日（金・祝）～13日（日） 2泊3日  
(2) 参加者 大学生 2名、一般 7名（男性5名、女性4名）  
(3) 研修内容

| 2月11日（金・祝）              | 2月12日（土）          | 2月13日（日）        |
|-------------------------|-------------------|-----------------|
| 10：00 ガイダンス             | 07：00 つどい         | 07：00 つどい       |
| 10：30 青少年教育における<br>体験活動 | 07：20 朝食          | 07：20 朝食        |
| 12：00 昼食                | 09：00 自然体験活動の特質   | 08：40 部屋点検      |
| 13：00 自然体験活動の技術         | 12：00 昼食          | 09：00 自然体験活動の技術 |
| 16：00 自然体験活動の指導         | 13：00 自然体験活動の安全管理 | 11：00 ガイダンスと試験  |
| 18：00 夕食                | 16：00 自然体験活動の技術   | 12：00 事業終了      |
| 19：00 対象者理解             | 18：00 夕食          |                 |
| 20：30 入浴 等              | 20：00 入浴          |                 |
| 22：00 消灯                | 22：00 消灯          |                 |

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ①当施設で提供しているコンパスを使用した「オリエンテーリング」や限られた材料で行う「火起こし体験」を行った。
- ②一部科目では、オンラインで講師と会場をつなぎ、双方向でのやり取りが行えるよう対応した。
- ③ネイチャーゲームや自然観察を行い、知識を深めたり、指導法を学んだりする機会とした。
- ④参加者自身が自然体験活動を企画し、他の参加者に対して指導する場を設けた。

(2) アンケート結果

- ①教育事業アンケートの満足度（「満足」と「やや満足」の評価割合）は、事業全体、事業運営、職員の指導・助言や対応の3項目において100%であった。
- ②アンケートの記述には「適切なアドバイスをいただいた。」「楽しく具体的に学ぶことができた。」という意見があった。

(3) 成果と課題

①成果

- ・本年度の広報は、近隣県のボーイスカウト・ガールスカウト連盟、国立青少年教育施設、当施設利用青少年団体、法人ボランティア等に幅広く周知した。その結果、全国から自然体験活動や資格取得に興味のある参加者が集まった。
- ・本事業では初めて一部オンライン講義を実施し、参加者が質問したり、講師が参加者の反応や様子を見ながら講義を進めたりすることにより、滞りなく実施することができた。今後もICTを活用し集合型とオンライン型のハイブリット形式の開催も検討したい。

- ・ネイチャーゲーム等の自然体験活動を通じ、楽しみながら知識を深めるとともに、自らが企画し他の参加者に対して展開することで、指導者の立場としての知見や意識も得られることができた。

②課題

- ・初日の終了時間が20:30という点で「2日目や3日目の日程が長くなる方が良い」との声があった。来年度以降の日程や時間割を再検討したい。
- ・「資格取得後の活用方法等をもう少し聞けるとよかった」「年代や年齢に応じた企画・指導をもっと詳しく知りたい」との意見があった。受講者の要望をくみ取りつつ、カリキュラムに沿った必要な情報を適切に提供していく。
- ・受講者が今後能登での事業等にも関わってもらえるよう、事業案内等の情報発信をし、学んだことを実践できる機会を設ける。

4 事業の様子



【オリエンテーリング】



【火起こし体験】



【オンライン講義】



【ネイチャーゲーム】



【安全管理講習】



【企画活動実践】